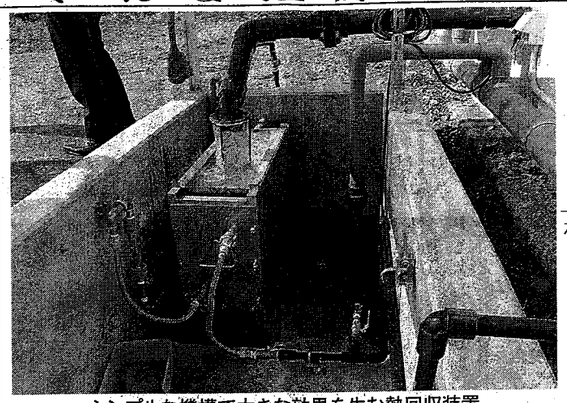
製造・ソフト

スイシンの熱回収装置導入
コスト削減、周辺環境対策に
みなみ給食サービス

給食事業を手掛ける、みなみ給食サービス（高崎市京目町841－15、高瀬一郎社長☎027～386～9165）はこのほど、スイシン（高崎市新町、畑元浩社長）製の熱回収装置「SWE－EQ25」を導入、7月から稼働を始めた。廃湯を水道水の加熱に利用、加熱前約20度の洗浄用水道水が約60度になり大幅な燃料費の節約につながるほか、200㌔㍑のボイラーを120㌔㍑に置き換えられたため、設備費用が削減できた。さらに、高温で廃棄していたお湯の温度も下がり、周辺環境へも配慮した形となった。

高瀬社長


シンプルな機構で大きな効果を生む熱回収装置

同社ではこれまで、水道水を85度まで加熱し食器洗浄を行い、洗浄後は廃湯していた。今回導入したのは、流下液膜式熱交換装置の技術を使用した次世代の熱回収装置。電気や燃料を使用せずに高効率の熱回収を行うため、ボイラーの燃料費節減につながるほか、燃焼削減に伴い二酸化炭素や温室効果ガスの削減にも貢献する。

毎時1・5立方㍍を熱交換率90％で試算すると、1時間当たり6万㌔カロリーを削減し、1日当たり約46㍑の重油削減、年間23㌧の二酸化炭素排出量削減になり、償却も3年程度だという。同製品は、15年度「ぐんまの環境新技術・新製品」の環境配慮製品に認定されている。

製造元の畑元社長は、「お湯を無駄に捨てないことで、燃料費の削減や地球温暖化防止などにつながる製品。温泉施設や食品・リネン業界のほか、新しい業界にも広めたい」と話している。販売は、シー・アール・シー（前橋市上沖町☎027～234～6766）が代理店となっている。

導入した高瀬社長は、「動力を使用せずに熱交換が行える環境にやさしい製品なので即決した」と話し、今後の効果に期待した。同社は福祉給食、産業給食などを提供。13台の配送車のうち、約半数で電気自動車を採用するなど、環境配慮型の経営を進めている。

省エネイベントで講演
栄光製作所の勅使河原社長

15年度省エネ大賞（省エネ事例部門）を受賞した栄光製作所（富岡市神農原1109－2、☎0274～63～2483）の勅使河原社長は5日、静岡県静岡市で開催された「第6回全国省エネミーティングin静岡」で基調講演を行った。

同イベントはForward to 1985 energy lifeが主催。住宅建築業者などを中心に、家庭でのエネルギー消費量を減らし、現在の約半分の85年レベルにしようと活動する団体で、当日は全国から約350人が集まった。

講演のテーマは、「省エネから笑エネへ一人を切らずに電気を切った社長の物語」と題し、省エネ大賞を受賞するまでの取り組みと苦労などを話した。勅使河原社長は、「電源管理を制するものは生産管理を制する」とし、電気の見える化やエネルギー管理体制の構築、社員のエコ活動など、完成した現在の形を紹介した。

さらに、「当社は、製品ではなく取り組みが評価されたもので、PRや講演も難しかったが、皆さん熱心に耳を傾けてくれた。すべてを教えたいくらいうれしかった」と感想を話した。

参加者は講演に聞き入った

経営強化法セミナー
来月2日、公社ビルで

県よろず支援拠点は8月2日、「中小企業等経営強化法解説セミナー」を県公社総合ビルで開く。7月1日施行の中小企業等経営強化法の解説と周知を行うもの。

同法律は、労働人口の減少や企業間の国際的な競争の活発化などの経済的社会情勢の変化に対応して中小企業や小規模事業者の経営強化を図るために制定された。各事業所管大臣による事業分野別指針の策定や固定資産税の軽減、金融支援などの特例措置を規定している。

セミナーは午後1時30分から同3時まで。定員は100人。問い合わせは同拠点（☎027～255～6631）まで。

ストレスチェック制度セミナー
高崎ビジネスメンタル

企業のメンタルヘルスを手掛ける高崎ビジネスメンタル（高崎市昭和町、島津文弘代表☎027～323～2204）は15日、ストレスチェック制度対応セミナー「メンタルヘルス対策と思いやりとは」をビエント高崎で開き、企業関係者ら約20人が参加した。

労働安全衛生法が改正され、15年12月1日から従業員50人以上の事業所に対しストレスチェックの実施が義務付けられ、11月末までに報告書の提出が求められる中、その内容と対策を解説した。

島津代表は、ストレスチェックの準備や実施、その後の面談・指導のほか、問題解決のための集団単位の集計・分析の必要性を説いた上で、「ストレスチェックは入り口。ストレスが原因で、自律神経の変調や睡眠障害、ミスやひきこもりなどの問題行動で日常生活にも影響が出る。制度の実施だけでなく、さまざまな観点からメンタルの相談を寄せてほしい」と話した。

講演する島津代表

ものづくり補助金
2次募集開始

県中小企業団体中央会はこのほど、15年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の2次公募を開始した。

同補助金は、サービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発や試作品開発、生産プロセス改善を行う中小企業や小規模

モノづくりの現場からのデザイン思考

第10回

デザインの時間軸　その2「ロングライフデザインの話」

前回は「デザインの時間軸」についてお話しました。今回はその時間軸の中でも、製品ライフサイクルの長い商品、いわゆるロングライフの製品のデザインについてお話したいと思います。

通常、ロングライフの製品というと、発売開始から販売終了まで、商品としての期間（製品ライフサイクル）が長い製品のことを指しますが、他に、販売期間終了後も継続して暮らしの中で愛され続け、そして使用され続けている製品という意味でのロングライフという表現もあります。

前者の場合は、長く売れ続けるという製品としての完成度の高さによることや、市場の中で一定の顧客を確保し続けていること、「市場導入期」「成長期」「成熟期」「衰退期」などの製品ライフサイクルの各段階で製品販売の変化に対応したマーケティング戦略や、形状や色などの小変更による外観上の〝デコ入れ〟などが効果的に実行された場合などに実現できます。そして、その製品分野で〝定番〟となった商品が〝超〟のつく程のロングライフ商品となります。例えば筆記具の分野での、ぺんてる社のサインペンや、ゼブラ社のマッキーなどがそれに当たります。

そして後者の場合は、何らかの形でユーザー側に〝愛着〟が強くわくこと、例えば「名品」と呼ばれるような圧倒的な製品クオリティーであったり、その製品が記録や栄光となる出来事を経てヒストリーを生み出したことで、所有欲が長く持続することにより実現します。

また、メンテナンス性が高く、部品交換が容易かつ部品供給が続いていることで使用を継続することが可能となることもそれに該当します。製品本体が販売期間を終了していても交換部品が手に入ることで使用が継続できるわけですが、現在ではネットオークションなどでリサイクル部品や、中古の製品本体が容易に安価に入手できる仕組みが整っていることも気に入った製品を長く使い続けられる要因となっています。

では、それらのロングライフの製品のデザイン、「ロングライフデザイン」には、どのような特徴があるのでしょうか？

まず第一に、道具として当たり前の機能や性能を満たしていること。そしてその機能とカタチが一致していて、デザインの良さにつながっていることが大切になります。

次に、「タイムレスなデザイン」であること。流行を追い過ぎてしまうと、時間が経つとともに古臭く感じてしまいます。プロポーションが良く、バランスの取れた、時代に左右されない普遍的な美しさがあることが大切になります。

そして最後に、その時代の流行を追うのではなく、むしろ次の時代の標準形、スタンダードを生み出す気概のあることが、時を経ても長く愛され続けるものになるのではないかと思います。

手島　彰（プロダクトデザイナー、デザインディレクター）
筑波大学芸術専門学群生産デザイン卒。富士重工業初代インプレッサのデザイン、プラスのオフィスデスク、システム家具などの製品企画・デザイン、英国ブランドホイール管理会社などを経て07年にテシマ デザイン スタジオ（http://www.teshima-design.com）を設立。

明清産業など35社採択
新技術・新製品開発補助金

県はこのほど、「16年度ぐんま新技術・新製品開発推進補助金」の採択企業35社を公表した＝表。

次世代産業推進型からは7社が採択。同補助金の補助限度額は、1件当たり1000万円、補助率は2分の1。一般型は3社が採択、同500万円、補助率は同じ。産業

16年度 ぐんま新技術・新製品開発推進補助金 採択企業一覧

次世代産業推進型（7社）		
申請者名	所在地	開発テーマ
エクセル製作所	桐生市	中空樹脂射出成形品の試作開発
シンクトゥギャザー	桐生市	廉価型低速電動コミュニティバスの開発
ダンボワークス	邑楽郡	シーティング対応車いすの開発
ディップ	太田市	金属用パイプ端末成形機を利用した新素材パイプ端末成形法
日本精密測器	渋川市	高精度・ベッドサイドCO2モニタの開発
御幸	安中市	医療分野製品の不具合対策及び金型技術の開発
明清産業	前橋市	医療機器向け10μ超極細電線導体の開発
一般型（3社）		
申請者名	所在地	開発テーマ
アールアンドエス	みどり市	内部欠陥の少ないアルミ鋳造による高強度自動車部品開発
荻野製作所	高崎市	IoTを活用した混流生産対応全自動寸法検査機の開発
ナノプレジション	藤岡市	多種産業用工パワー白色LED部材の高精度加工技術の開発
産業支援機関・県パートナーシップ支援型（2社）		
申請者名	所在地	開発テーマ
関口木型製作所	前橋市	開発テーマ段ボール加工におけるCNFを配合した高品質なウレタンアンビルカバーの開発
群馬レジン	高崎市	高品質な透明ハンドマネキン製造方法の確立
市町村・県パートナーシップ支援型（23社）		
申請者名	所在地	開発テーマ
ステッチ	前橋市	施工性に優れた建築用三次元内装材の開発
[illegible]	[illegible]	[illegible]